

政策評価調書（個別票）

【政策ごとの予算額】

政策名	世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みの実現				番号	26		(千円)							
	予算科目				他に記載のある 個別票の番号	予算額									
	会計	組織／勘定	項	事項		7 年度 当初予算額				8 年度 概算要求額					
政策評価の対象と なっているもの	一般	文部科学本省	研究振興費	世界レベルの研究基盤の構築に必要な経費			101, 265				101, 265				
	小 計				一般会計		101, 265				101, 265				
					<		>	の内数	<		>	の内数			
特別会計															
政策評価の対象と なっていないが、 ある政策に属する と整理できるもの	小 計				一般会計										
						<		>	の内数	<		>	の内数		
					特別会計										
合 計				一般会計		101, 265				101, 265					
					<		>	の内数	<		>	の内数			
				特別会計											

令和6年度実施施策に係る政策評価書

(文R6-8-4)

施策名	8－4．世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みの実現		部局名	研究振興局 大学研究基盤整備課	作成責任者	柳澤好治
施策の概要	世界最高水準の研究大学を実現するため、科学技術振興機構（JST）に10兆円規模の大学ファンドを設置し、その運用益を活用して国際卓越研究大学に認定された大学へ長期的・安定的な支援を行う。				政策評価 実施時期	令和6年度
達成目標及び測定指標		（別添1）「科学技術分野の政策体系等」のとおり				
施策の実施状況		（別添2）「科学技術分野の施策の実施状況（8－4）」のとおり				
施策目標に係るレビューシート		https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/block30_00108.htm				
評価結果	施策の評価 【有効性の観点から】		10兆円規模の大学ファンドについては、運用元本が2023年3月末に10兆円規模に到達し、JSTにおいて、世界最高水準の研究大学の実現に必要な研究基盤の構築への支援を長期的・安定的に行うための財源の確保という運用目的に沿った投資行動が適切に取られている。また大学ファンドの支援対象となる国際卓越研究大学については、国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）において令和5年8月に、初回の公募における国際卓越研究大学の認定候補として、一定の条件を満たした場合に認定するという留保を付して、東北大学を選定。その後、アドバイザリーボードにおいて、東北大学の体制強化計画案について審議を行い、令和6年6月に、国際卓越研究大学の認定及び体制強化計画の認可の水準を満たし得るものとの結論に至るなど、目標の達成に向けて着実に前進している。また、東北大学の体制強化計画の実施状況について、一定期間（6年～10年を目安）ごとに、支援の継続可否に係る「期末（マイルストーン）評価」をアドバイザリーボードにおいて実施し、中長期的な観点から達成状況を確認していく。			
	今後の施策への反映の方向性		大学ファンドについては、リスク管理を徹底するなど、JSTにおいて引き続き適切に運用し、国際卓越研究大学については、令和6年10月以降、文部科学大臣による国際卓越研究大学の認定・体制強化計画の認可の可否の判断を行う取り組みを着実に進め、目標達成に向けた対応を行う。			
学識経験を有する者の意見	—					